

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 14★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

仁摩保育園(大田市)

【保育園DATA】

○所在地: 大田市仁摩町仁万559-1
○法人名: 社会福祉法人仁摩福祉会
○定員: 100名
※平成30年12月27日時点で在籍数117名

○職員構成(保育士)

- ・主任保育士 1名
- ・正規職員 14名
- ・看護師 1名
- ・臨時職員 4名
- ・パート職員 5名

○法人内他施設

- ・仁摩子育て支援センター
- ・仁摩児童クラブひまわり



○ 中祖千鶴 園長が大切にしていること

仁摩保育園はひとつの家族
～お互いを思いやり助け合う～

☆ 中祖千鶴 園長略歴 ☆

旧町立仁摩保育所に採用となり保育士として勤務開始。平成17年に大田市に合併後は市内公立保育所に勤務。平成22年3月大田市を退職。平成24年4月より(社福)仁摩福祉会が指定管理を行う大田市立仁摩保育所所長に就任。平成29年4月からは民営化となり「仁摩福祉会 仁摩保育園」園長として現在に至る。

保育士がいきいきと働ける環境を整備するために

○仁摩保育園はひとつの家族

私は「仁摩保育園はひとつの家族」だと捉えて職員会議で話をします。大きなお家の中に保育士が入り、保護者が入り、子ども達がいる。家族みんなが幸せになるには、保育士自身も幸せになるように努力しないとイケない。保育士が働いていく上で家庭との両立は本当に大変な事ですが、保育士自身も幸せであることが、子どもたちにとっての幸せや保護者にとっても利用しやすく安心して預けられることにつながっていくと思います。

お互いを思いやりながら助け合っていく家族のように、当園の職員は、誰かが困った時には進んで助け合い、支えあいながら日々の業務に取り組んでいます。

○保育士がいきいきと働き続けるためのサポート

保育士がいきいきと働くには心も体も健康であることも大切です。当法人では、健康診断の項目増やインフルエンザ予防接種の費用負担の他、職員研修に運動療法を取り入れるなど職員が健康で安全に働くための福利厚生や労働条件の整備を進めています。

また、当保育園では記録等事務作業の負担軽減を図るために、新たにパソコンやタブレットを増設しICT化による事務作業の効率化や、利用児数が少ない土曜日に2時間程度を事務作業に集中して取り組む時間として活用する体制をとっています。

子育て中の職員へのサポートとしては、子どもが満2歳になるまでの交替勤務免除や育児短時間勤務制度、看護休暇制度などがあり、雇用形態に関わらず平等に活用できます。

更に、昨年度から時間単位休暇制度を導入したことで、必要な時間だけ休みを取る事が可能となり、子どもの学校行事等にも参加しやすくなったと職員は喜んでいます。

園での取り組み紹介 ①挨拶から始まるコミュニケーション

当園の1日は気持ちの良い挨拶から始まります。職員は出勤すると必ず全クラスを回って同僚や子ども達に挨拶してから担当クラスに入る事を決めています。交替勤務やクラスごとに保育を行う保育園では、そうしたルールを意識することで日頃接点の少ないクラスの保育士や子ども達と顔を合せてコミュニケーションをとることができます。保護者の方や地域の方からも「仁摩保育園に行くとき気持ちの良い挨拶が聞こえる」という声をいただいています。

園での取り組み紹介 ②保育士のスキルやキャリアを高める制度

〈人事考課制度の導入〉 当園を運営する仁摩福祉会では、法人全体で「人事考課制度」を導入しており、当園でも正規・臨時・パート全職員を対象に評価だけでなく面接を行い、個人の現状や希望・要望などを聞き取り、今後に向けた話し合いを行います。当園では園長、主任の他に4人のリーダー保育士を配置しており、保育士の面談は基本的にリーダー保育士が対応し、話しやすい雰囲気づくりに努めています。

〈正規登用制度〉 当園では入職時の雇用形態は原則として臨時職員ですが、その後2年の経験を積むことで正規職員登用試験を受けることができます。登用試験は法人本部で全職種対象に行っており、当園の保育士もチャレンジし正規職員に登用されています。明確なスキルアップの道筋が見ていることは大切で、業務の励みにもなっています。

園での取り組み紹介 ③保育人財を育む保育園

仁摩保育園には、近くに所在する邇摩高校から多くの学生が職場体験やボランティアに訪れます。実際の保育現場で子ども達とのふれあいや保育士の仕事を理解する事により興味が目標に変わる学生も多く、養成校に進み実習生として再び園を訪れる方や、高校卒業後に仁摩保育園に保育補助として就職し、現場経験を重ねながら保育士試験に合格して現場で活躍する保育士もいます。

思いのある学生は子ども達への声掛けや接し方も優しく積極的です。保育士を目指す若い人材の成長を感じる事も、保育士として働く一つのやりがいにつながっています。

☆職員の声☆



弓場 宏美 先生

- ・保育士歴：17年目
- ・0歳児を担当
- ・リーダー保育士

結婚・出産を経て当園に勤めて7年目になります。3人の子育て真最中ですが、勤務時間の配慮など皆さんに支えて頂き助かりました。

また、有給休暇はもちろんのこと時間休の導入により学校行事や子どもの通院にも利用しやすくなりました。

当園では、行事は役割分担制でベテランと若手が組み計画を共に進めます。そうすることで不安も和らぎ、皆で協力して行う事でやりがいや達成感を感じる事ができます。リーダー保育士として皆で支え合い思いやりのある職場にしたいです。



樋野 佐也加 先生

- ・保育士歴：6年目
- ・4歳児を担当

「地元で働きたい」という思いから当園に就職し6年目になります。これまで1歳児～5歳児を担当するなかで、子ども達の年齢ごとの発達段階や保育の面白さを感じています。卒園児を送り出す際には一緒に過ごした日々を思い、成長の喜びや別れの寂しさ、充実感を感じました。

全クラス複数担任で保育を行うことで、相談しやすく、アドバイスや違う意見を聞くことで新たな発見や思いつきが見つかる良い面があります。

今後も、子ども達と新しい発見を大切にしながら一緒に成長できる日々を過ごしていきたいです。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～

幼い頃お世話になった保育園の先生に憧れて保育士を目指しました。現在、縁あって勤めることになった地元の保育園で、幼少時代にお世話になった先生方と一緒に仕事をしています。同じ保育現場で働く仲間になれたことに感動し、とても嬉しく心強く感じています。将来子ども達に「地元っていいな」と思ってもらえるような保育に、これから取り組んでいきたいと思っています。

